

学校だより

# あ お ぎ り

No. 1 1

平成22年11月30日

須坂市立森上小学校

## 人権教育月間の取り組み

11月9日～12月8日を、人権教育(みんなとわたしのしあわせ)月間と位置づけ、学校を挙げて様々な取り組みを進めています。

初日の全校集会では、「となりのためき」というお話を職員が劇にして発表。子どもたちに、友だちとの関わり方を改めて考えさせる問題提起としました。

全校共通の取り組みとしては、「おもいやり(やさしさ)の木を育てる」(友だちや家族にやってあげられたことは『おもいやりの』の葉に書いて貼る。やってもらったことは『ありがとう』の葉を相手の木に貼っていく)活動や、友だち貯金(あいさつをした相手に紙のコインを渡し、渡された相手は裏に返事を書いてその人に返す。もらったコインを集めて貼っていく)の活動をしています。

姉妹学級の活動も重点に入っており、姉妹学級同士で清掃に取り組んだり、給食を一緒に食べたりする活動を行っています。

体育集会では、姉妹学級ごとに長縄の連続跳びに挑戦しました。下の写真には、縄に入るタイミングを、6年生が1年生に教えている場面が写っています。6年生と1年生の温かな気持ちの通い合いが感じられます。これも、日頃から、姉妹学級の活動を重ねてきている成果だと思えます。



ためきがあまりに意地悪なためき、思い悩んだうさぎは、たまりかねてお月様に、「ためきを懲らしめて」と頼みます。お月様は、その願いを聞き届ける代わりに、うさぎに『1か月間、ためきに親切にすること』を条件に出します。

うさぎが約束を守ってためきに親切にし出すと、あれあれ?・・・ためきにも変化が。

1か月が経って、お月様がうさぎに「約束どおりためきを懲らしめてやろう」と言うと、うさぎは困ってしまいます・・・

保護者の皆様にも、参観日の学級懇談の中で、人権委員の方に中心になっていただき、研修の時間をとっていただきました。ありがとうございました。

子ども同士のみでなく、子どもと教師、親と子、親同士等々、関わる全てのもものが、互いに、共に良い関係を築いていこうと努力していくことが、信頼関係を深めていくことにつながっていくのだと思います。

学校もさらに努力を続けていきます。

これからもいっそうのご協力をお願いします。

## 11月の子どもたち

### 1年 きれいに咲いてね

種から大事に育て、長い間観察を続けてきたアサガオとさよならした1年生は、今、パンジーの苗をそれぞれの鉢に移植し、育てています。

移植の日、「私のは黄色の花が咲くの。」「僕は水色。」等と楽しそうに話してくれました。2年生になる頃には、きっときれいな花が咲いていることでしょう。



干し柿を作ったクラスもありました。甘くておいしい干し柿ができました。



### 2年 乗り物遠足

秋晴れに恵まれた5日(金)、2年生は電車に乗って善光寺・少年科学センター、城山動物園に行ってきました。券売機で一人ひとり切符を買ったり善光寺の仲見世で買い物をしたりしました。電車の中でのマナーも守り、楽しい1日を過ごして学校に帰ってきました。

### 3年 社会科見学

3年は、社会科の学習で、消防署や横町交番の見学に行ってきました。

右の写真は、職員と代表児童がはしご車に乗せてもらった場面を写したものです。ものすごい高さですね。見学に行った子どもたちもびっくりしていました。



森上小は、市役所・消防署・交番など、3年が社会科で学習する公的な機関が全部学区内にあるため、学習が大変しやすくありがたいです。

### 5年 タマネギの植え付け

5年生は、クラス毎、園芸高校の圃場で、タマネギの植え付け作業をさせてもらってきました。

全部で600本の苗を21列に植えたということで、大変だったようですが、貴重な農業体験の時間になりました。

来年の収穫を、今から楽しみにしている子どもたちです。



### 障害を持つ人たちへの

### 4年 理解を深める学習

4年生は、国語の点字の学習をきっかけにして、視覚に障害を持つ方との交流会を10月に持ちました。そこが発展して、今度は聴覚に障害のある方との交流会を実施しました。

ハンディを持ちながら、それらを工夫や努力で克服し、たくましく生きていらっしゃる方々の生き方は、子どもたちに人間の可能性や素晴らしさを感じさせてくれるものになっています。

### 6年 屋台ごっこ

昨年仕込んだ味噌が熟成し食べられるようになったので、その味噌を使って焼きおにぎりやニラせんべい、すいとんなどを作り、親子で楽しもうと計画された「屋台ごっこ」の活動。参観日に合わせて計画され、子どもたちの呼び込みの声が晴れやかに高らかに響く中、26日(金)に賑やかに実施されました。

6年生にとっては、小学校生活の楽しい思い出が、もう一つ増えたようです。